

社会人としての

基礎的な能力が備わった人材を、

社会は求めています。

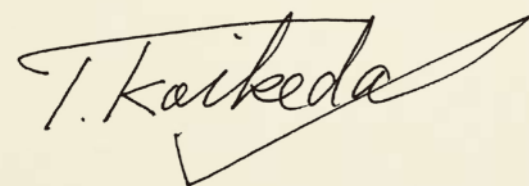
流通経済大学は、産業界からの強い要望によって、1965年、世界最大規模の総合物流企業である日本通運株式会社の出捐しゆけんによって設立されました。以来、産業界との密接な連携の下に、流通・物流部門のみならず、広く産業界に貢献できるような「人材の育成」に力を注いできました。私たちは、大学は単に「研究機関」であるだけでなく、何よりも「教育機関」であると考えています。今、社会が大学に期待していることは、21世紀に活躍できる「人材の育成」です。社会人としての基礎的な能力が備わった人材を、社会は待ち望んでいるのです。

開学以来、私たちの教育は、常に企業や社会を意識してきました。入学した時には持っていなかった能力、社会人としての“基礎的な能力”を学生に付与して送り出すことを使命としてきました。『大学は“専門的な能力”を身につける場なのでは?』と思われる方もいらっしゃるかもしれません。たしかに、学生たちは各学部で学びたい分野を絞り、ある意味専門的に学んでいます。しかしそれは、あくまでも社会人として人間的に成長していくための手段であり、単純に特殊な技能や技術を学んでいるわけではありません。“専門”という言葉をあえて使って言うならば、学生が学んでいることは“専門基礎”あるいは“専門教養”です。本当の意味での専門的な能力は、大学院や社会に出て学び身につけていくもの。そのままに身につけるべき大事なことを忘れてはいけません。本当の意味での専門的能力を積み上げていくための土台、生涯学び成長し続けていくための土台づくりこそが、大学での本当の学びなのだと私たちは考えています。

論理的な思考力、柔軟な発想力、的確な判断力、コミュニケーション能力、意思決定能力、こういった力が、社会人としての基礎的な能力です。これは、人間力と言い換えることもできるでしょう。こういった力を養っていくためには、やはり机上の学びだけではどうしても限界が生じてきます。時にキャンパスを飛び出し、実際に現場へ足を運ぶことも必要。いろんな人と出会い、いろんな経験や実感から学ぶことで、自然と、いつのまにか社会人としての基礎的な能力は身につけていくものです。そのほうが4年間という時間をもっと素晴らしい時間にできます。大学時代は、人生の中でもっとも充実した時間が過ごせる時期だと言っても過言ではありません。それもこれも学生本人の「志」しだい。大学が何をしてくれるか、ではなく、大学で何をやるか。そういった主体性をぜひ早いうちから持ってほしいと思っています。

「成長できる環境」は整っています。一生懸命には、一生懸命で、応えます。「志」と「志」で、お会いしましょう。

流通経済大学／学長 小池田 富男



Message



沿革

- 1965年1月 流通経済大学設置認可
- 1965年4月 流通経済大学開学・経済学部経済学科開設
- 1970年4月 経済学部経営学科開設
- 1973年11月 産業経済研究所（現・物流科学研究所）設立
- 1985年4月 流通経済大学付属柏高等学校開校
- 1988年4月 社会学部社会学科開設
- 1989年4月 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程開設
- 1991年4月 大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程開設
- 1992年4月 大学院社会学研究科社会学専攻修士課程開設
- 1993年4月 社会学部国際観光学科開設
- 1994年4月 大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程開設
- 1996年4月 流通情報学部流通情報学科開設
- 2000年4月 大学院物流情報学研究科物流情報学専攻修士課程開設
- 2001年4月 法学部企業法学科（現・ビジネス法学科）、自治行政学科開設
- 2002年4月 大学院物流情報学研究科物流情報学専攻博士後期課程開設
- 2004年4月 流通経済大学新松戸キャンパス開校
- 2005年4月 大学院法学研究科リーガルガバナンス専攻修士課程開設
- 2006年4月 スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科開設
- 2007年3月 スポーツ健康センター竣工
- 2008年4月 (財)大学基準協会より「大学評価結果ならび認証評価結果」を認証
- 2008年4月 自彊館竣工
- 2008年12月 経済産業省「産学連携人材育成事業」に採択
- 2009年9月 スポーツ健康センター（メインアリーナ）竣工
- 2010年4月 大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ科学専攻修士課程開設